

事務事業評価(事前評価)シート【令和4年度】

主管課(担当名)	社会福祉課(社会援護担当)	事業区分	■実施計画 □重点プロジェクト
事務事業名	生活物資等支援事業	事業番号	12927

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-9	生活自立支援
	施策目標	自立した生活を送るための支援体制が充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	新型コロナウイルス感染症のり患者及び濃厚接触者で自宅療養や自宅待機を余儀なくされ、外出が著しく制限された世帯に対し、食料品や衛生用品等にお支援物資を配布し、経済的・精神的負担の軽減を図り、生活基盤を安定させることを目的とする。
成果	外出が困難となり、食料品等の購入が困難となる新型コロナウイルス感染症り患者及び濃厚接触者に生活物資を支給することで、生活の不安等が解消される。
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) □その他
事務区分	■自治事務 □法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R2							
R3								
R4	新型コロナウイルス感染症のり患者及び濃厚接触者を対象に物資の支援を行う。							
R5	同上							
R6	同上							
事業費と内訳	(単位:千円)	R2	R3	R4	R5	R6	総事業費	
	事業費			240	240	240	720	
	内訳	国庫支出金			120			120
		道支出金						
		地方債						
		その他			120			120
		一般財源				240	240	480
	人員(人工)			0.16	0.16	0.16	0.48	
職員費(人員×7,513千円)			1,202	1,202	1,202	3,606		
総事業費			1,442	1,442	1,442	4,326		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R3)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	支援対象件数	198件	-	24件
		(実績値)		

事務事業改善策 (継続事業のみ記入)

生活物資等の購入が困難な自宅療養者等に対し、日常生活の栄養確保の観点を踏まえ支援内容を見直すなど改善をしている。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	外出が困難となり、食料品等の購入が困難となる新型コロナウイルス感染症り患者及び濃厚接触者に生活物資を支給することで、生活の不安等が解消される。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある □ニーズはある □ニーズはあまりない</p> <p>外出制限がされている世帯への配布となるため、かなりのニーズがある。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである □市の実施について検討の余地あり □市以外で実施可能である</p> <p>北海道において同様の事業を実施しているが、物資の到着まで1週間程度要している状況であるため、市による迅速な対応が必要となっている。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い □緊急性はある □緊急性はない</p> <p>食料がなくなるなどといった事態に陥りかねないため、緊急性は高い事業である。</p>
エ. 手段の適切性	<p>□適切である ■現状として妥当である □検討の可能性はある</p> <p>市として対象者を把握することができないため、現状としては保健所との連携して事業を行うのが妥当である。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い □概ね公平である □改善の余地はある</p> <p>り患者の属する世帯をすべて対象としているため、公平性は高い。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い □本事業の有効性がある □既存事業と大きな差はない</p> <p>自宅療養者の一助となっているため、有効性は高い。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【速やかに実施】</p> <p>速やかに事業推進を図り、根室保健所と十分連携を図ったうえで迅速対応するよう、感染者等の置かれている状況に寄り添った対応に努められたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 □再検討し実施する □着手を延期する</p> <p>現状のとおり、迅速な対応により事業を実施していく。</p>